

令和4年 第2回北海道議会定例会 予算特別委員会〔総務部所管〕 開催状況

開催年月日 令和4年6月28日(火)
 質問者 民主・道民連合 広田 まゆみ 委員
 答弁者 教育・法人局長
 総合教育推進課長

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>一 民間幼稚園などにおける森や自然を活用した子育て支援について</p> <p>(一) 道の取り組みの進捗状況について</p> <p>令和4年第1回定例会において、「森と自然の育ちと学び自治体ネットワーク」に関し、「具体的な活動内容等について情報収集に努めるとともに、総合教育会議などの場を活用し、道内各地で行われている表情豊かな活動を育んできた方々の想いをお伺いしながら北海道の自然を活かした学びの充実を図る」と知事からご答弁をいただきました。</p> <p>その後の進捗状況をうかがいます。</p> <p>【指摘】</p> <p>ネットワークに参加している自治体から聴取をされているということでしたが、今議会ではエビデンスに基づく政策展開などについて知事なども言及されているとうかがっております。</p> <p>「森と自然の育ちと学び自治体ネットワーク」においては、自然保育など、子どもたちの屋外や自然の中での遊びが脳の発達や自己効力感の形成に効果的であるというエビデンスの蓄積もされております。情報収集の加速を指摘したいと思います。</p> <p>(二) 森と自然を活かした学びの取組状況について</p> <p>先ほどご紹介した「森と自然の育ちと学び自治体ネットワーク」によると、自然保育などの制度化が先に進んでいる県などにおいては、いわゆる「森のようちえん」など、園舎を持たない自主保育型の、特化型の支援はもとより、次の段階のテーマとして、普及型と言われますが、既存のいわゆる普通の幼稚園などが、森林などのフィールドで体験や遊びを実施したいとしたときの場所や、フィールド整備などに使える支援の情報提供、更に、そうした森や自然を活用した子どもたちの学びや遊びをサポートするには研修が必要ですので、そういう研修など人材育成の支援の在り方などについても研究テーマが進んでいます。子育て環境の質の向上が、どんどんと図られている訳です。</p> <p>道では、この現場の課題についてどのように認識し、どのように取り組んでいるのかうかがいます。</p>	<p>(総合教育推進課長)</p> <p>取組の進捗状況についてでございますが、優れた自然環境を有する北海道において、子どもたちが豊かな自然の中で様々な体験をしていくことは、幼児教育における大切な取組の一つであると認識しております。</p> <p>道では、「森と自然の育ちと学び自治体ネットワーク」に参加している自治体から、取組に係る成果や課題を聴取するとともに、園外での山のぼりや川遊び、木の遊具作りなど、自然保育を実施している園の事例等について情報収集を行ってきたところであります。</p> <p>(総合教育推進課長)</p> <p>自然体験活動に係る取組状況などについてであります。幼児期においては、探究心や思考力、表現力等を育むことが重要であるとされておりますが、幼児の自発的な遊びを生み出すために必要な環境が十分ではないといった課題も指摘されていると認識しております。</p> <p>道では、道教委との共催で実施する保育者を対象とする研修において、専門の職員による自然体験活動の実習を行うとともに、森林をフィールドとして活動する際には、活動場所のほか、森林体験などの木育活動を企画し、指導できる木育マイスターを紹介する取組等を行っているところであります。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>【指摘】 今のご答弁ありましたけども、北海道の特徴として、園舎を持たない自主保育のグループとかもあるんですけども、今おっしゃったように民間の一定程度の子どもがいる規模の幼稚園なども、民間の自然学校などと連携協働して子どもたちの遊びの場を確保するという事例は、既に現場にあるんですね。</p> <p>しかし、そこに対して、北海道として支援の仕組みがない。認証制度も、名前もないのは非常に残念です。</p> <p>道外先進自治体では、今議会でも使途について話題となった森林環境譲与税をフィールドの整備や人材育成など民間幼稚園などにおける森や自然のなかでの育ちや学びの支援に活用している事例なども含めて、自治体に情報提供することなども関係部と連携して検討するよう指摘をさせていただきたいと思います。</p> <p>(三) 今後の取り組みについて</p> <p>私としては、総合教育会議、総合教育大綱を司るというか持ってらっしゃる総務部が、リーダーシップを取っていただきたいと思っておりますが、当面は。総合教育会議などにおいて、民間の幼稚園における自然保育導入のモデル事例ともいえる札幌トモエ幼稚園や、恵庭市のリズム学園、または先ほどちょっとお話をしましたが、北海道の特徴なんですね、民間幼稚園と自然体験の技術がある自然学校などの連携協働というのは。</p> <p>そうした先進事例から学びながら、北海道の自然を活かした子どもたちの遊びや学び環境の保障の重要性、または先ほども言ったようにエビデンスがありますから、それを情報収集し、教育庁、保健福祉部、水産林務部なども連携しながら、一日も早く自然保育などの導入検討の場の設置が必要と考えますが、今後どのように取り組む考えかうかがいます。</p> <p>【指摘】 最後に、指摘とさせていただきますが、今、局長からも「幼児期は生涯にわたる人格形成の基礎が培われる極めて大切な時期である」とご答弁いただきました。</p> <p>今議会の特徴は、中高年の引きこもり支援ということが非常に大きな、各党派からも議論になった議会であります。どこに行政として投資というか、施策を集中するかということは、私はこの幼児期のとこにしっかり入れていくべきだと思います。</p> <p>今、こども家庭庁ですね。大きな子ども政策についての検証が必要なこの時期を、決して失することなく一日も早く道としての検討を指摘といたしまして、私の質問を終わります。</p>	<p>(教育・法人局長)</p> <p>今後の取組についてでございますが、幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎が培われる極めて大切な時期でありますことから、全ての子どもたちに質の高い教育を提供することが重要であると考えております。</p> <p>道では、道内の私立幼稚園においては、野外体験のほか、スポーツや音楽、英語など、特色のある教育が多彩に展開をされており、子どもたちの個性と可能性を伸ばす上で、重要な役割を果たしているものと考えております。</p> <p>道といたしましては、引き続き、こうした実践事例の情報収集に努めますとともに、関係部局と連携をしながら、より質の高い幼児期の教育を提供することができるよう、取り組んでまいります。</p>